

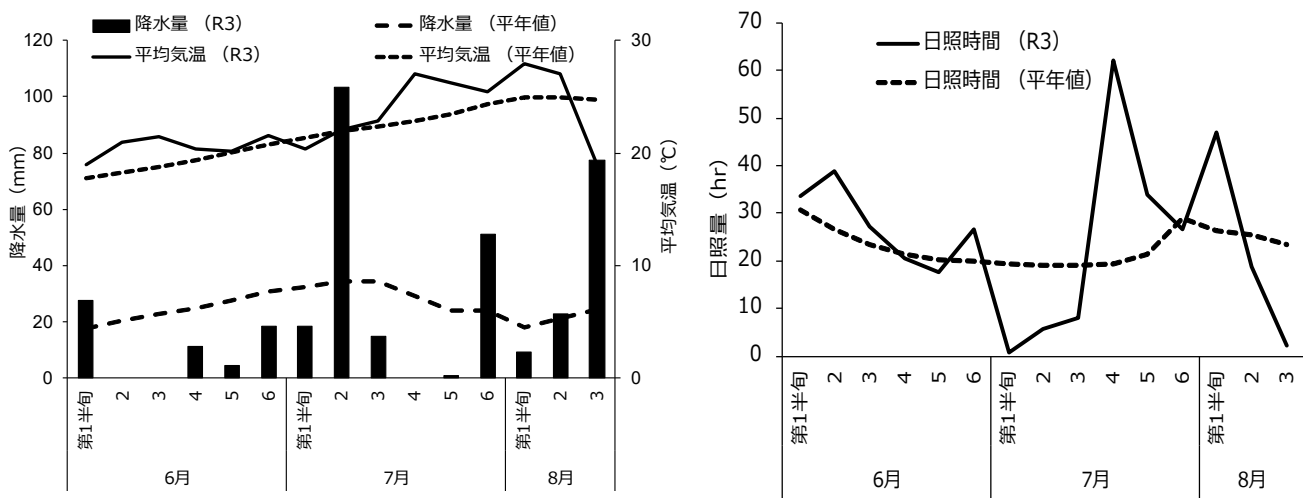
仙台稲作情報2021（第8号）

宮城県仙台農業改良普及センター TEL：022-275-8410 FAX：022-275-0296
<http://www.pref.miyagi.jp/sd-nokai> E-mail：sdnokai@pref.miyagi.lg.jp

栽培管理のポイント

- ▷ 収穫時期が早まる予想です。計画を立てて作業を実施しましょう。
- ▷ 落水は出穂後30日頃から行いましょう。
- ▷ 籾・穂軸の熟色を観察し、適期の収穫に努めましょう。
- ▷ 適正な乾燥調製に努めましょう。

1 気象経過



2 出穂状況

管内全体の出穂期は7月30日となり、平年より3日早くなりました。

表1 管内の出穂状況（地帯区分別）

地帯区分	出穂始期	出穂期	穂揃期
山間高冷	7/29	8/3	8/9
西部丘陵	7/27	7/31	8/6
北部平坦	7/24	7/30	8/3
南部平坦	7/27	7/31	8/5
仙台湾沿岸	7/27	7/31	8/5
仙台普及センター管内全体 (平年差)	7/24 (6日早い)	7/30 (3日早い)	8/5 (5日早い)
県全体 (平年差)	7/26 (4日早い)	7/30 (4日早い)	8/7 (3日早い)

※ 50%以上出穂したほ場を「出穂期に達した」とし、地帯区分別の出穂始期、出穂期、穂揃期は、「出穂期に達した」面積が、当該区域の水稲作付面積の5%、50%、95%以上となった日とする。

※ 普及センター管内全体の「平年差」は、平成28年から令和2年までの5か年平均との差。

※ 県全体の「平年差」は、過去10ヶ年（平成23年～令和2年）のうち、最も早い年と遅い年を除いた8ヶ年平均との差。

3 生育概況（ひとめぼれ）

各生育調査ほの出穂期は平年より早くなりました。また、穂揃期の葉色は、期待葉色値（33～35）を下回る傾向がみられました。

表2 生育調査ほの出穂期及び穂揃期における葉色値

栽培区分	品 種	ほ 場 (地帯区分)	田植・播種 月日	出穂期 (平年差)	穂揃期葉色 (SPAD) (平年差)
移植	ひとめぼれ	仙台市宮城野区蒲生 (仙台湾沿岸)	5/15	7/31 (-3日)	37.1 (+4.0)
		大郷町鶉崎 (北部平坦)	5/12	7/31 (-)	31.4 (-)
		仙台市泉区福岡 (西部丘陵)	5/13	7/24 (-9日)	32.0 (-2.2)
	ササニシキ	仙台市若林区荒井 (仙台湾沿岸)	5/11	7/30 (-3日)	32.1 (-1.1)
	だて正夢	大郷町土橋 (北部平坦)	5/14	8/4 (-7日)	35.4 (±0)
		仙台市若林区三本塚 (仙台湾沿岸)	5/18	8/5 (-)	36.3 (-)
	つきあかり	大郷町山崎 (北部平坦)	5/14	7/25 (-)	35.2 (-)
	金のいぶき	仙台市若林区七郷 (仙台湾沿岸)	5/25	8/8 (-)	32.8 (-)
湛水 直播	ササニシキ	大和町落合桧和田 (北部平坦)	5/3	8/8 (-)	44.9 (-)

※平年差は、平成30年から令和2年の3カ年平均との差。-（マイナス）は平年より早いことを示す。

4 今後の管理

(1) 穂いもち防除

8月12日以降の低温・日照不足・多雨により穂いもちの感染好適条件が県内全域に出現しています。穂いもちによるイネの被害（収量低下）は、出穂後3週間までの感染で影響が大きくなります。直播栽培や晩生品種など出穂期が遅いほ場においては、1回目（出穂直前）及び2回目（穂揃期）の茎葉散布剤による穂いもち防除に加え、**3回目（2回目の防除から7～10日後）の防除を検討**しましょう。 ※宮城県病害虫防除所による注意報第2号（穂いもち）が発表中です。

(2) 水管理

- ・落水時期の適期は出穂後30日からとなりますが、ほ場条件、天候、登熟条件などを考慮して落水時期を決定しましょう。
- ・早期落水は、腹白粒や心白粒など被害粒の発生を増大させ、玄米の品質を著しく低下させるので適期落水に努めましょう。
- ・落水後も好天が続く田面が乾き過ぎるときは、走り水程度のかん水をしましょう。

(3) 刈取適期

- ・管内全体の出穂期は、平年より3日早い7月30日となりました。出穂期以降、平均気温が平年を上回る日が続く、8月12日から17日にかけて不順な天候となったものの、今後も気温が高くなる予報が出ていることから収穫時期が早まることが予想されます。
- ・出穂期後の毎日の平均気温を積算（積算気温）し、**概ね1,000℃頃が収穫適期の目安**となります。収穫適期に達する積算気温は品種によって異なるので、表3「刈取適期の目安」及び表4「出穂後の積算気温による刈取時期の目安」を参考にして適期刈取に努めましょう。
- ・また、一般的には、籾の80～90%程度が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から3分の1程度黄変したときが成熟期です。穂をよく観察して判断しましょう。
- ・籾水分からも適期刈取の判断ができます。※25%（刈取早限）～21%（刈取晩限）

- ・「だて正夢」は刈取りが早過ぎる場合や遅すぎる場合は玄米タンパク質含有率が高まる傾向があります。**適期幅が2日程度**しかないので、計画的に作業をしましょう。
- ・「金のいぶき」は**成熟期が「ひとめぼれ」より17日程度遅い**ので、粃（穂）の熟色を確認して収穫時期を決めましょう。また、「ひとめぼれ」より穂発芽しやすいので、積算気温を目安に早めに刈取りましょう。
- ・倒伏が見え始めてきました。倒伏したほ場では穂発芽による品質低下が起きやすいので、刈取早限になったら直ちに収穫しましょう。

表3 刈取適期の目安

品 種	出穂後の積算気温	出穂後の日数
ひとめぼれ	940℃～1100℃	40日～45日
まなむすめ	960℃～1050℃	
ササニシキ	930℃～1170℃	45日～50日
みやこがねもち	950℃～1150℃	
だて正夢	1020℃～1060℃	50日前後
金のいぶき	1050℃～1150℃	50日～55日

【注意】気温が平年よりも高い予報となっているため、「出穂後の日数」は記載した日数より早まる可能性があります。

表4 出穂後の積算気温による刈取時期の目安

品 種	アメダス地点	刈取時期の目安 (出穂期7/30の場合)
ひとめぼれ	仙 台	9/7～9/14
	大 衡	9/9～9/16
	鹿島台	9/9～9/16
ササニシキ	仙 台	9/7～9/17
	大 衡	9/9～9/20
	鹿島台	9/8～9/19
だて正夢	仙 台	9/11～9/12
	大 衡	9/13～9/14
	鹿島台	9/13～9/14

※気象データは各地点のアメダステータを使用。8月15日までは実測値、それ以降は平年値を使用

5 収穫作業

- ・コンバイン収穫では粃水分が高いと損傷が多くなるので、**粃水分25%以下を目標に刈取作業**をしましょう。
- ・今年度作付けしている品種が前年と異なるほ場では、漏生粃（こぼれ粃から発芽した稲）の発生に注意し、草姿や成熟が明らかに異なる株は可能な限り抜き取りましょう。
- ・複数の品種の刈取りを行う場合には**品種が替わる際に十分な清掃**を行い、異品種の混入防止に努めましょう。
- ・倒伏している場合は**刈分けを実施**し、収穫物に石など異物が混入しないよう注意しましょう。

6 乾燥調製

- ・収穫した生粃を放置すると発熱して変質米の原因になるので、**刈取り後速やかに乾燥機に張り込み送風**しましょう。
- ・倒伏した稲や未熟粒の多い稲など**高水分の粃を機械乾燥する場合は、二段乾燥**(粃水分が18%程度になったら火力乾燥を一時中断し、一定時間通風循環後仕上げ乾燥を行う)を行い、水分ムラや胴割米の発生を抑えましょう。
- ・正確な水分測定のためには、玄米の測定サンプルから未熟粒を取り除いて測定しましょう。また、こまめに水分測定して過乾燥を防止しましょう。**仕上がり玄米水分は14.5%～15.0%が目標**です。
- ・粃摺は肌ずれ防止のため、粃の温度を室温まで下げてから行いましょう。また、ロール式粃摺機の場合は、粃に見合った適正なロール間隔に調整しましょう。
- ・異品種の混入を未然に防ぐため、品種が替わる毎に機械類の清掃を徹底しましょう。
- ・「だて正夢」では、**充実した玄米を確保するためふるい目は1.9mmとします**。

7 東北地方の向こう1か月の天候の見通し (8/12仙台管区气象台発表)

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。
- 前線や湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、向こう1か月の降水量は多いでしょう。日照時間は平年並か少ない見込みです。